20210613レムナント教会1部

**真の知識と知恵 (Ⅰ列王記3:7-13)**

　「知識こそ力なり」という言葉があります。それほど正しい知識は、人生の勝利のためにとても重要なものになるということでしょう。しかし、その正しい知識が分かったとしても、それを正しく用いることができる知恵がなければ、その知識は良いものとは限りません。なので知識が有効なものになるためには知恵が求められます。しかし、知恵があったとしても世の知恵というものは、人の霊的な問題を解決するということは不可能です。なので世の知識というものは限界を見るようになります。ということで私たちが人生を勝利するためには、世の知識、世の知恵だけではなくて、真の知識と真の知恵が求められるということになります。今日、聖書に紹介されていますソロモンという人は、その知恵の代名詞に当たる人です。ソロモンと言えば知恵、また、知恵といえばソロモンがすぐに思い浮かぶようになります。それでソロモンは神様から知恵をいただいて箴言という聖書、伝道者の書という聖書、また、雅歌という聖書を書き残しました。ここでソロモンを中心にして何が真の知識なのか、何が真の知恵なのかということを確認していきたいと思います。そして、真の知識、真の知恵があれば人生はどうなるのかということを考えていきたいと思います。

　1.まず第一に、真の知識は人生を真の幸せへと案内するものです。

だから、真の知識がなければ幸せは期待できないでしょう。その真の知識というものは、ただ数学の数字を覚えたり、教科書を暗記したりするものではありません。ソロモンが書いた箴言1：7を見ますと、「主を恐れることは知識の初めである。愚か者は知恵と訓戒をさげすむ。」と言っています。真の知識、人間の本当の幸せのために絶対必要な真の知識、真の情報というものは神様を恐れるところから始まると言われています。神様を恐れるというのは、神様を怖がるという単純な話ではありません。神様を恐れるということが知識の根本になりますが、それは神様を罪人のためにキリストをこの世に送られる方として理解して、そして、そのように認めること、それが神様を恐れるということなのです。もう一度言います。神様を恐れるということは「神様は怖いな」というようなことではありません。神様は私たちが勝手に想像して、勝手にイメージする神様ではなくて、私たちのためにキリストを世に送る約束をされた契約の神様として分かって、それを心から認めることを神様を恐れると言います。簡単に申し上げると、真の知識というものは、キリストがどういう方なのかを正しく知ること、それが神様を恐れることであり、真の知識になるものなのです。キリストがどういう方なのか分かっていないのに、本当の知識とは言えません。だから、勉強がよくできなくても、学校で頭が悪いのかどうか分かりませんが、なかなか覚えられないというレムナント、子どもたちもあまり心配しなくていいです。その知識ももちろん必要でしょうけれども、本当の知識はキリストがどういう方なのか分かることなのです。それは頭が悪くても構いませんので心配しないように。キリストはどういう方なのでしょう。聖書は全部がキリストのお話なのですが、いくつかピックアップして申し上げると、創世記3：15、蛇の頭を踏み砕いて勝利なさる女の子孫と預言されていたその方がキリストなのです。人間のすべての問題の根源には、蛇、悪魔、サタンがいるわけです。その悪魔の頭を踏み砕いて勝利なさる唯一の方、キリストなのです。そして、出エジプト3：18、いけにえとなる子羊、私たち人間の罪は罪ある人間では解決できないので、全く罪のないキリストが身代わりとして犠牲になることによって罪の問題を解決することができ、その罪のために犠牲になられる方、それがキリストです。そして、イザヤ7：14を見ますと、これからキリストが来られたときには、その名をインマヌエルと言いなさい。神が私たちとともにおられる。人間は神様を離れて、自分の力では神様と一緒になることができません。だから、いつまで経っても地獄の運命に捕らわれて生きるしかありません。しかし、キリストだけが私たちをまた神様と一緒になることができるようにインマヌエル、その方がキリストなのです。キリストをこのように正しく知ること、キリストに対しての情報を心から認めること、これが真の知識なのです。なのでキリストは人生の問題を解決できる唯一の答えであり、唯一の希望であり、唯一の道なのです。このような情報、知識、これこそが真の知識です。今は情報反乱の時代です。YouTubeやFacebookなどSNSを通してあらゆる情報があふれています。しかし、その情報は真のものもあるしでたらめなフェイクの内容もいっぱいあります。だから、気をつけないといけません。しかし、そこでファクトに当たる知識、情報だとしても、それが真の情報にはなりません。真の知識は聖書が教えるキリストに対する情報なのです。だから、勉強がよくできるようになりたいと思う子どもたちは、その前に真の知識、キリストを正しく知るところからスタートしてみてください。そうすると、必ず頭も良くなります。良くならなくても構わないけれども。キリストは人生の問題の唯一の答えなのだ。この情報こそが知識です。そして、そのキリストの中に完璧な祝福が、十分で完全な祝福が全部ある、これが真の情報、真の知識です。なぜ世の中の様々な情報には耳を貸していながら、この本当の情報には興味を持たないのでしょうか。これこそが人生を真の幸せへと案内する情報なのです。そのキリストの中に最高の栄光があり、栄光に輝いている方であり、栄華を極めている方なのです。つまり、キリストは神様ご自身なのです。これが真の情報なのです。このキリストをこのように正しく分かったときにその人は真の知識を持つようになり、幸せへの道を歩むようになります。そして、真の知識というのは、このキリストが実は十字架で死なれて三日目によみがえられたイエス様なのだ。これが真の知識です。イエスはキリストです。だから、誰であれ、どんな人間であれ、このイエス様を信じることによって永遠のいのちが得られ、神様とワンネスになり、神の子どもになるのだ。これが知識です。ユダヤ人はイスラエルの人だけが祝福される、また、良いことばかりしていると祝福されると思っていました。それは間違っている情報です。売春婦でも、そして、イエス様の十字架の片側に強盗がいました。イエス様と一緒に。そういう人間でも誰でも構いません。このイエス様を信じることさえあれば永遠のいのちの祝福に預かります。それでⅡコリント5：17、だれでもキリスト・イエスのうちにある者は、古いものは過ぎ去り、すべてが新しくなるという情報こそが本当の知識です。これは東大を出なくても、そして、学歴がなくても学校の門を通ったことのないおばあさん、おじいさんでもこのことは分かります。このことさえ分かっていればその人は知識の人間です。これが真の知識です。なのでどんな人間でもイエス様を信じると新しく造り変えられて、天にある霊的すべての祝福をいただいて、その結果、世にいる間にキリストのからだなる教会となり、だからこそこの暗やみの世に向かって光を放つ世の光として残りの人生を歩くことができる。そして、人生が終わったときには天国に迎え入れられるようになる。イエスを信じるとそのようになるのだということが知識です。残念ながら教会に通っている信徒でも、この情報にあまり興味がないし、信徒以外には知ることができないことなのにこの知識に乏しいのです。なんと残念なのでしょうか。もうレムナント教会の皆さんは、この知識に関しては徹底しないといけません。YouTubeを見なくても聖書を通してこの真の知識に精通しなければなりません。キリストがどういう方なのか。イエスはそのキリストなのだ。だから、イエスを信じる自分はどのように造り変えられているのか。外見と自分の弱さと関係なく、本当に新しく造り変えられている者なのだと。この知識を皆さんのものにしないといけません。もちろんこの知識を自分のものにできないように邪魔する目に見えない力があるから、なかなか難しいことも事実なのです。だからこそ聖霊様が今働いていらっしゃるので知識をしっかりつかんで繰り返し、繰り返し、この知識に目を通さないといけません。これこそが真の知識です。この知識なくして皆さんがお金を儲けるから、一生懸命まじめに頑張るから幸せになれるだろうと思うのは大間違いなのです。人生の本当の幸せは真の知識から案内されるものなのです。

それから、この真の知識というのは、ソロモンが伝道者の書を書きましたけれども、その伝道者の書の1：1-3を見るとこのように告白しています。「空の空。伝道者は言う。空の空。すべては空。日の下で、どんなに労苦しても、それが人に何の益になろう。」。空の空、つまり、真の知識というのは、キリストのないこの世は、そこが先進国なのか後進国なのか金持ちなのか貧乏なのか、どこの国の民族なのか関係なく、キリストがないこの世は空の空、空の空、空しくて空しくてしょうがないところだという情報が真の知識です。残念ながらクリスチャンのほとんどの人がこれを受け入れようとしないのです。そうすると、教会は教会の色を失うようになります。この空の空と嘆いているソロモンはどういう人だったのかというと、最高に世の中のものによる栄華を極めていた人です。その人が今言っていることなのです。王として最高の権力を手に入れて、その権力をふるっていた人間が空の空と言っている。また、このソロモンには奥さんが何千人もいました。世の中の楽しみや快楽を極めていた人間の方からそのすべてが空だ、空の空なんだ、空しいよ。これが真の知識です。神様を離れている限りは、結局形がどうであれ自分自身の奴隷であり、この世の奴隷、お金の奴隷であり、本当はサタンの奴隷として生きるしかありません。それを裏付ける証拠が何かというと人々は神でないものを神だと勘違いをして、自分で作ったものを神だと思い拝む偶像崇拝をして、また、宗教にのめりこんで占いなどに人生を託したりしています。それが、今サタンの奴隷だという裏付けなのです。これが神を離れているキリストのないこの世の姿です。なので人々は霊的な問題、精神的な問題、肉体的な病、生活が崩壊してしまい、死の恐怖に囚われて、そして、次の世代にもこの滅びの遺産が引き継がれるようになるしかない、つまり、滅びの運命という力に囚われて生きるしかありません。なので形がどうであれこの世は根本的に空の空、空しくて空しくてしょうがないところなのです。これが真の知識です。皆さんにはこの知識があるのでしょうか。もし本当にキリストがどういう方で、そのイエス様を信じている自分がどんな存在で、この世の中が空しいところだという知識に精通している者であれば、学校の成績がたとえ悪くてもその人は必ず幸せに生きることができます。真の知識、真の情報、それがなんなのかということをソロモンを通して正しく教えられたと思います。

それから、この真の知識があるからこそ、真の知恵に走ることができます。

2.真の知恵というものは、私たちを勝利の人生へと導かれるものです。

それが真の知恵です。真の知恵というものは、真の知識に信仰をもって反応することを知恵と言います。なので真の知識が欠けているのに知恵を絞ろうとしても世の中の知恵の他には出ません。だからまず真の知識に目を留めるようにしましょう。そして、その知識があるからそこで力が現れるわけではありません。その知識に信仰をもってどのように反応を示すのかということなのです。イエスがキリスト、これこそが真の知識と申し上げました。ならば知恵というものは、そのイエス・キリストを、イエス様をキリストとして信じて受け入れることこそが知恵なのです。それが生きることであり、それが幸せであり、そこに勝利があるわけです。聖書を見ますと、イスラエルの人、パリサイ人たち、また、律法学者たちは自分なりに様々な知識をもって間違っている知識、自分なりの知恵を絞ってイエスを拒否しました。どう考えても割に合わないなと思ったのです。しかし、真の知恵は知識に基づいて、信仰をもってイエスをキリストとして信じて受け入れること、それこそが知恵なのです。それから、受け入れた人はその完璧なキリストがともにおられるその祝福をもって、様々な現実の中でその現実に振り回されないで騙されないでその現実の中で完璧なキリストがともにおられる祝福を味わうことを知恵と言います。簡単に申し上げると、ガラテヤ2：20でいつも自分を縛り付けることです。私はキリストともに十字架で死んだ。今は私のために十字架で死なれた私を愛していらっしゃるキリストがともにいらっしゃるのだと。私はそういう人間だということを忘れないで、様々な現実の前でその現実に騙されないで、その祝福を味わうこと、それが知恵です。そうすると、すべてを働かせて益としてくださるのだなということが分かるようになります。なんにも心配することはないということが分かるようになります。そして、真の情報はこの世が空しい希望のないところだということだったので、その知識に基づいて信仰をもって感謝とともに反応を示すようになります。私は何のために生きるのか、人生を生きる理由が更新されます。今までは幸せを探し求めて人生を生きてきました。あるいは自分の目標を達成するために生きてきました。しかし、正しい情報、知識が入って来たので、それを認めるのであれば、私の生きる理由は福音宣教にある、それが最高の価値なのだ。神様はそのために私を召された。私の仕事、才能、お金、経済、健康、家族、すべてはこの福音宣教のための道具であり、旅程なのだと整理することが知恵であり、その整理によって心から決断すること、それが知恵です。知恵は私たちを勝利へと導きます。皆さん、真の知識の人、真の知恵の人になることを祈りたいと思います。ここまで正しく整理されることが知恵です。整理されることによって反応を示して決断を下していくことです。でもその道を歩んでいるときに様々な心配事がいっぱい起きてしまいます。その心配事が心配ではなくて、そこにある神の計画を見つけ出して、そして、その計画を握って自分の力でぶつけるのではなくて、自分の感情で反応をぶつけるのではなくて、祈りによって御座の祝福が現れることを味わう、これを知恵と言います。いつも私たちが願っている通りの良いことばかりある人生ではありません。決断したのにもかかわらず厳しいこと、様々なトラブル、いろいろな心配事が目の前にやってきます。しかし、それに倒れないで、それに振り回されないで、必ず神の計画があることを分かってそれを見つけ出そうとしていることが知恵であり、それが分かったときにそこに御座の祝福が現れることを祈ること、これが知恵なのです。だから、勝利するしかありません。自分に囚われることもありません。このようなクリスチャンが現場に向かいます。知恵というものは、もう存在が変わっているから、現場がどんなところなのか分かったので、競争したりそこで暴れたりせずに、伝道者の生き方をするようになります。学校の現場、仕事の現場、家庭の現場、様々な現場があります。そこでただ同じ人間として生きるのではなくて伝道者として生きること、これが知恵なのです。現場には不信仰の大波の流れというものが必ずあります。そこに一緒に流されないで、そこで最適を見つけます。つまり、そこで私を必要としていることは何なのかということを見つけるわけです。それが知恵です。それを見つけた場合は、最善を尽くして最高を目指していくこと、これこそが知恵です。なので真の知恵の人は、勝利の人生を歩むしかありません。私たちには一回限りの人生が許されています。そこでせっかくキリストの血潮によっていのちが与えられました。しかも世界福音化の契約の中で私たちは召されています。そこで私たちが見極めないといけないことは、情報氾濫の時代において真の知識は何なのか、真の知恵は何なのか、どこにあるのかということをよく理解して、自分のものにしていきたいと思います。

　今までの真の知識と知恵のお話に基づきますと、これから何が一番大事なものになるかと言いますと、毎週日曜日の礼拝を通して語られるメッセージ、講壇のメッセージ、ここが神様からの知識、神様からの情報が発信されるところなので、耳を澄まして礼拝に成功しないといけません。だから、礼拝のメッセージのときには、神から与えられる正しい、しかも、真の知識、真の情報、それを聞こうという思いで耳を傾けないといけません。そして、聞いたら自分自身に語りかける神のメッセージが必ずありますので、それがあったらメモを取るか、あるいは全体を書き起こす習慣を身につけることが大切です。なぜなのでしょうか。真の情報だからです。この真の情報に精通していないと、情報氾濫の時代にフェイクニュース、悪魔、サタンが撒き散らした偽物のニュースに私たちは翻弄されるようになるしかありません。学校で教えられるからすべてが正解とは言えない時代、世界を私たちは生きています。なので講壇のメッセージを通して神様からの情報、真の知識の情報が発信されるのだという理解とともに講壇のメッセージを大事にして自分のものにしていかないといけません。そして、そのようにキャッチできた知識があれば、それを個人の祈りのときに心から告白するように、そして、心から決断するように、それがその通りになるように御座の力が現れるように祈ってください。これこそが知恵です。祈ってください。でも、なかなか皆さんがなぜ祈れないのかと言いますと、まず情報が入って来ないので祈る材料がないのです。だから、未信者と全く同じ祈りしかできないわけです。何か大変なことがあるときに祈って、それがなければ祈らずしばらく休みに入って、そして、また何か問題が起きればお祈りをするという祈りは、正確に申し上げるとクリスチャンの祈りではありません。真の情報が先です。その情報によって、それを心から反応を示すこと、その知恵こそが祈りです。だから、祈りを具体的に実際的に大事にしてください。そのためにはメッセージを聞くときに情報を正しく仕入れないといけません。全部が分からなくても、このような思いで聞きますと必ず皆さんに神様が個人的に語りかけるメッセージがあるはずなのです。

それから、そのような祈りをもって現場に向かいます。その現場でこれはみことばが成就するための旅程なのだ、そして、答えの現場なのだという思いで、現場ですべてを譲って受け入れて超越する、そのような心構えで現場を過ごすようにしましょう。これが知恵というものなのです。そうすると、皆さんひとりひとりを通して神様が望まれるいのちの働きが行なわれ、それが237国、5000部族までつながっていくようになることを信じてぜひそうなることを祈りたいと思います。

（祈り）

恵み深い父なる神様。ありがとうございます。今日も兄弟姉妹とともに神様のメッセージを、真の知識を語ってくださりありがとうございます。どうか講壇のメッセージが神様からのいのちの真の知識の発信源であることを覚えて、そのような思いで講壇のメッセージを受け入れて、そのメッセージから真の情報をキャッチして、それを祈りを通して告白することができる、そして、それが現場で答えられることを見ることができる真の知識、真の知恵のクリスチャンになるようにひとりひとりを祝福してください。イエス・キリストの御名によってお祈りいたします。アーメン